

平成 30 年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 森林レクリエーション資源を活用した山村と都市との交流に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月

(概 要) フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」を開催し、森林レクリエーション資源を活用して山村と都市との交流の促進が期待される活動事例（森林エリアを活用したアクティビティやトレッキングを行うガイド事業、滝に注目した交流活動、トレイルランニング、遊びや体験のインターネットを活用した予約サイト、都市と山村との交流）を紹介するとともに、事例発表者と宮林茂幸東京農業大学教授によるパネルディスカッションを実施し、報告書を作成した。

② 森で行う園外保育と外部講師の実施する森林環境教育の連携に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 30 年 7 月～令和元年 6 月

(概 要) 教育効果が期待される森で行う園外保育活動を促進するため、森林インストラクター等の外部講師との連携に必要な要件や手法について調査、検討を行い、手引書を作成する。

(2) 参考図書発行・普及

「森林レクリエーション資源を活用した山村と都市との交流に関する調査報告書」を会員及び林野庁、森林管理局等の関係機関に配布した。

既刊の「アクティブ・ラーニング 森林環境教育 小学校で活躍するための基礎知識」、「入門編 森で行う園外保育 森のようちえん」、「小学校で役立つ自然とみどりのアクティビティ集」、「『森のようちえん』アクティビティ集」、「みぢかな里山のアクティビティ集—体験活動マニュアル—」、「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂5版」を一般配布した。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.371(2018年4月)～No.382(2019年3月)、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

① 森林レクリエーション活動に関する情報

- 持続可能なレクリエーション ヨーロッパ編（4,5）（No.377,378）
- フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」パネルディスカッションの記録（1,2,3）（No.378,379,381）
- キロロスノーワールド内の国有林野をオフィスエリアとして活用する取組について（No.381）

② 森林環境教育・健康等に関する情報

- 〈連載〉森林と健康—森林浴、森林療法のいま— 第7回,第8回,第9回,第10回,第11回,第12回（No.371,373,374,375,376,382）
- 北海道名寄市で行っている「森のようちえん」（No.379）

③ 森林を活用した地域振興等に関する情報

- 私の美しい森フォトコンテスト入賞作品の紹介（No.372）
- 第30回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」受賞団体の活動（No.376,377,378）
- 黄桜の系譜（No.373）

- わがまち 自然や観光資源とスポーツとの融合（群馬県東吾妻町（2））
（No. 371）
- 丹波山村の林業振興の取組－地域おこし協力隊の活動について－
（No.375）

④ 森林・林業に関する行政等の情報

- 消費税の軽減税率制度に向けての準備は進めていますか（No.375）
- 平成 31 年度林野庁予算（概算決定）から（No.381）

⑤ 当協会に関する情報

- 第 6 回親子スキー・スノーボード教室 in ジュネス栗駒の開催（秋田支部）（No.371）
- 第 64 回理事会の開催（平成 30 年度事業計画）（No.371）
- 第 30 回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」
受賞団体の決定・プロフィール（No.372, 373）
- 第 34 回通常総会の開催（No.374）
- 平成 30 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表（No. 380）
- 第 32 回森林レクリエーション全国研修会（No. 382）
- 平成 31 年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程等
（No. 382）
- 八甲田ロープウェー開業 50 周年記念式典の開催（No. 382）

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集を行うとともに、会員のメーリングリストにより会員への情報提供を適宜行った。

また、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(3) 森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクールの実施（旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール）

昭和 63 年度から実施してきた「森林レクリエーション地域美化活動コンクール」を、表彰の対象となる活動の明確化、審査基準の見直し及びコンクールの名称の変更等を行い、第 30 回森林レクリエーション地域「美しい

森づくり活動コンクール」として実施し、表彰を第34回通常総会の場において行った。

また、第31回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」として、都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション活動が行われている地域において、景観の保全・向上のための森林整備、利用者の利便性、安全性の向上のための施設整備、森林の有効活用によるレクリエーション活動、美化のための清掃・ゴミ拾い及び動植物の保護のための活動等を積極的に行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等の公募（締め切りは平成31年1月末日）を実施し、28団体（都道府県推薦17件、森林管理局推薦10件、当協会支部1件）から応募があった。

平成31年4月15日に審査委員会を開催し審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1点）
特定非営利活動法人 もりふれ倶楽部（島根県松江市）
- 林野庁長官賞（2点）
特定非営利活動法人 秩父百年の森（埼玉県秩父市）
剣山自然休養林等保護管理協議会（徳島県徳島市）
- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞（5点）
おもてごう里山クラブ（福島県白河市）
塩原温泉パークコンダクター連絡協議会（栃木県那須塩原市）
嵐山モウモウ緑の少年団（埼玉県嵐山町）
特定非営利活動法人 環境整備・森と竹で健康クラブ（静岡県沼津市）
えひめ森の案内人会（愛媛県松山市）
- 奨励賞（5点）
田代岳を愛する会（秋田県大館市）
風呂の前里山保存会（千葉県市原市）
さくほ森の子育成クラブ（長野県佐久穂町）
太陽生命くつきの森林「どんぐりプロジェクト」（滋賀県高島市）
太陽生命保険株式会社
特定非営利活動法人 麻生里山センター
高島市朽木東小学校
高野「めざめ」の森づくり実行委員会（和歌山県高野町）

(4) 第 32 回森林レクリエーション全国研修会の開催

テ ー マ 「日本最南端の天然雪スキー場と五ヶ瀬にしかないもうひとつの季節を巡る」

開催時期 平成 30 年 10 月 2 日(火)～3 日(水)

開催場所 宮崎県五ヶ瀬町

参加人員 33 人

研修内容 日本最南端の天然雪スキー場の五ヶ瀬ハイランドスキー場のほか、高千穂峡や五ヶ瀬ワイナリーなど周辺森林レクリエーション関連施設などの視察等

(5) 「山の日」記念事業の実施

平成 30 年 11 月 30 日(金)に「山の日」記念行事として、一般財団法人日本森林林業振興会及び一般社団法人日本森林インストラクター協会との共催により、「水源の森を訪ねる ー多摩水源の村 小菅ー」と題し、山梨県北都留郡小菅村の溪畔林の散策と宮林茂幸東京農業大学教授による記念講演を実施した。森林散策及び記念講演には、公募による一般参加者、スタッフ等約 69 名が参加した。

なお、本事業は、当初 8 月 8 日に計画していたものであるが、台風の接近により中止となったものを改めて実施したものである。

(6) 森林環境教育ネットワーク事業

平成 19～21 年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業(林野庁補助事業)の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信(会員登録数: 799)

第 189 号(平成 30 年 4 月 5 日)～第 204 号(平成 31 年 3 月 25 日)

(7) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

- ① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年4回、各回850～900部)
- ② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供
- ③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ
- ④ 資料の配布やインストラクターの紹介
- ⑤ 日比谷公園において行われた「みどりとふれあうフェスティバル」への出展及び子ども樹木博士認定活動の開催(平成30年5月12日、13日)等の活動を実施。

(8) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成30年度の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第1回研究会 (3月16日)	「遊休森林を活用したビジネスモデル フォレストアドベンチャーについて」 講師 有限会社パシフィックネットワーク取締役 田桑 正樹 氏
第2回研究会 (7月13日)	①「日本型クアオルトで健康寿命延伸と地域振興 ～ヴァルト・クアで地域振興～」 講師 (株)日本クアオルト研究所代表取締役 大城 孝幸 氏 ②「平成29年度森林・林業白書について」 講師 林野庁林政部企画課年次報告班経営分析係長 島田 早苗 氏
現地研修会 (10月2日～3日)	開催場所 宮崎県五ヶ瀬町 「日本最南端の天然雪スキー場と五ヶ瀬にしかない もうひとつ季節を巡る」 (第32回森林レクリエーション全国研修会に合わせて開催)

<p>第3回研究会 (10月22日)</p>	<p>①「信越トレイルがつなぐ人と地域」 講師 特定非営利活動法人信越トレイルクラブ 事務局長 大西 宏志 氏</p> <p>②「森林経営管理制度（森林経営管理法）について」 講師 林野庁森林整備部計画課首席森林計画官 箕輪 富男 氏</p>
<p>第4回研究会 (12月20日)</p>	<p>①「地域のお宝発見！森林環境教育の可能性」 講師 名寄市立大学保健福祉学部准教授 柳原 高文 氏</p> <p>②「木材輸出の現状と課題」 講師 一般社団法人日本木材輸出振興協会 事務局長 井上 幹博 氏</p>

(9) 他団体主催行事への後援等

- ① 第28回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
平成30年5月12日・13日（イイノホール及び東京都立日比谷公園）
- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」（協力）
平成31年1月7日～1月11日（農林水産省）
- ③ 平成30年度学校の森・子どもサミット（実行委員会への参加）
平成30年7月30日～31日（福井県福井市、若狭町及び美浜町）
- ④ 平成30年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）
平成30年11月30日（林野庁）
○ 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
（森林ふれあい部門）
課題名 自然休養林における利便性の向上、情報発信の強化に向けて
～QRコードを活用した取組～
受賞者 国土交通省保全課（元兵庫森林管理署） 中村 祐輔 氏
兵庫森林管理署 佐藤 開 氏
- ⑤ 第4回森の映像祭2018（特別協賛）
平成30年6月16日（木材・合板博物館シアタールーム）

⑥ IZU TRAIL Journey2018（後援）

平成 30 年 12 月 8 日～9 日（松崎町松崎～伊豆市修善寺温泉）

⑦ シンポジウム 森林スポーツ新時代 ～森林利用・山村振興の新たな可能性～（後援）

平成 30 年 9 月 29 日（東京大学農学部 1 号館）

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全 4 科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

平成 30 年度の実施状況は次のとおり。

① 養成講習の公募案内の開始（平成 30 年 3 月 1 日）

② 養成講習受講者の募集開始（平成 30 年 4 月 1 日）

③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日 数	場 所	受 講 者 数
講習Ⅰ (科目別講習)	森 林	5.12～5.14	3	東京都文京区 林野会館	55 人
	野外活動等	5.26～5.28	3		46 人
	林 業	6.16～6.17	2		57 人
講習Ⅱ (全科目講習)	4 科 目	8.11～8.18	8		42 人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内

容を盛り込んで実施。

- ① 平成 30 年 5 月 12 日～ 6 月 17 日（うち 8 日間） 受講者数 39 人
- ② 平成 30 年 8 月 11 日～18 日 受講者数 46 人

4 森林インストラクター資格認定事業

平成 30 年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 383 人（前年度 443 人）、合格者数は 135 人（同 119 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 4,313 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

平成 30 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 30 年 3 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 30 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 30 日	札幌市	北海道経済センター	11 人
	仙台市	ショーケー本館ビル	17 人
	東京都	青山学院大学	194 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	40 人
	大阪市	天満研修センター	80 人
	高知市	高知会館	16 人
	福岡市	電気ビル本館	22 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
12 月 1～2 日	東京都	林野会館	143 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 30 年 12 月 13 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 30 年 12 月 21 日）
- ⑦ 平成 30 年度の登録更新の開始（平成 30 年 11 月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	平成 30 年 8 月 30 日	北海道札幌市	木下専務理事
旭 川	平成 30 年 7 月 6 日	北海道旭川市	木下専務理事
帯 広	平成 30 年 8 月 23 日	北海道足寄町	木下専務理事
北 見	平成 30 年 5 月 24 日	北海道北見市	沼田理事長
函 館	平成 30 年 8 月 2 日	北海道今金町	木下専務理事
青 森 (研修会)	平成 30 年 9 月 18～19 日	宮城県蔵王町	沼田理事長
秋 田 (研修会)	平成 30 年 9 月 18～19 日	宮城県蔵王町	沼田理事長
前 橋 (研修会)	平成 30 年 8 月 31 日	群馬県前橋市	沼田理事長
	平成 30 年 10 月 19 日	新潟県南魚沼市	
東 京	平成 30 年 7 月 4 日	東京都江東区	木下専務理事
長 野	平成 30 年 6 月 27 日	長野県長野市	沼田理事長
名古屋	平成 30 年 7 月 27 日	愛知県名古屋市	沼田理事長
四 国 (研修会)	平成 30 年 11 月 12 日	高知県四万十市	沼田理事長
賛助会員 研修会等	平成 30 年 7 月 13 日等	東京(森林共生フォーラム「研究会」への参加等)	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

平成 30 年度末における会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	9	1	10
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	17	8	25
	青 森 支 部	19	10	29
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	12	23	35
	東 京 支 部	7	10	17
	長 野 支 部	6	5	11
	名 古 屋 支 部	5	1	6
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	9	2	11
	本 部	1	3	4
	小 計	130	93	223
賛 助 会 員		-	16	16
合 計		130	109	239